

- 問1 年降水量が約127ミリメートルと極めて少なく、月降水量がほぼゼロになる月も多い砂漠地帯において、農作物を栽培するために地下水などの水を外部から人工的に引き、農地に供給して行う農業を何といいますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 稲作農業 2. かんがい農業 3. 焼畑農業 4. 地中海式農業
-
- 問2 EU加盟国の経済状況を示した資料において、フランスやオランダなどの初期加盟国が高い値を示す一方で、2004年以降に加盟したポーランド、ハンガリー、ブルガリアなどの国々が著しく低い水準にとどまっている、国の経済的な豊かさを比較するための指標は何ですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 全輸出額に占める工業製品の割合 2. エネルギー自給率 3. 国民一人あたりのGDP 4. 情報通信技術の普及率
-
- 問3 豊臣秀吉が全国で行った太閤検地によって確立された、一つの土地に対して一人の耕作者を検地帳に登録し、その土地の権利と納税義務を確定させる原則を何といいますか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 公地公民の原則 2. 寄進地系荘園の原則 3. 一地一作人の原則 4. 版籍奉還の原則
-
- 問4 日本国内における特定の発電方式の地方別割合を見ると、九州地方が約59パーセント、東北地方が約37パーセントを占めており、これら2つの地方で全体の9割以上を占めています。火山地帯を有する特定の地域に集中しているこの発電方式は何ですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 風力発電 2. 水力発電 3. 地熱発電 4. 原子力発電
-
- 問5 宮城県女川町では、東日本大震災の教訓を後世に伝えるため、当時の小中学生が中心となって「女川いのちの石碑」を町内各所に建立しました。この石碑には「ここは、東日本大震災津波到達点より高い」という碑文が刻まれています。このような石碑を設置した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 大きな地震が発生した際、この石碑よりも高い場所へ避難することを促し、人々の命を守る行動指針とするため 2. 津波のエネルギーを減衰させるために、海岸線に沿って巨大な石を並べる防災構造物として機能させるため 3. 過去の津波の被害を記録した古文書や当時の写真を保管し、歴史資料館としての役割を持たせるため 4. 震災で亡くなった方々の氏名をすべて刻み、遺族が定期的に供養を行うための記念碑として活用するため
-
- 問6 北海道の苫小牧港における貿易統計において、輸入品のうち木材チップが大きな割合を占め、輸出品では紙・パルプの取扱量が最も多いという特徴が見られます。このような、海外から原料を輸入し、国内の工場で製品に加工した上で輸出する貿易の形態を何といいますか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 加工貿易 2. 自由貿易 3. 中継貿易 4. 垂直分業
-
- 問7 2012年の衆議院議員総選挙において、20歳代の投票率は約38%で全年代の中で最も低く、反対に70歳代は約75%と高い数値を示しました。また、投票に対する意識調査では、20歳代の過半数が「棄権するかどうかは個人の自由である」と回答しています。このような若年層の意識と現状が政治に与える影響について、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 全年代で共通して投票率が上昇傾向にあるため、若年層の意識の変化は将来的にすべての世代の投票行動を改善する要因となっている。 2. 若年層が棄権を個人の自由と捉えることで、若者の政治的関心が全年代の中で最も高まり、SNSを通じた新しい政治参加の形が定着している。 3. 若年層の投票率が低いことで、人口が多く投票率も高い高齢層の意見が政策に反映されやすくなる「シルバー民主主義」の状況を招いている。 4. 年代が上がるほど棄権を個人の自由として容認する傾向が強まるため、高齢層の投票率を維持することが喫緊の課題となっている。
-
- 問8 日本の社会保障制度は、4つの大きな柱によって成り立っています。このうち、年金、医療、介護といった、国民が保険料を出し合うことで、老齢や病気などの不測の事態に備える仕組みを何といいますか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 社会福祉 2. 公衆衛生 3. 公的扶助 4. 社会保険
-
- 問9 一遍の活動を描いた「一遍上人絵伝」という資料には、一遍が多くの民衆の前で教を説き、人々が熱狂的に集まっている様子が描かれています。時宗がこのように当時の農民や商工業者などの民衆の間で広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 交通の要所に巨大な寺院を建立し、幕府の権威を背景に布教活動を行ったから。 2. 念仏を唱えるという平易な行いによって、誰でも救われるという教を説いたから。 3. 幕府の法典である御成敗式目を遵守することで、極楽浄土に行けると説いたから。 4. 座禅を組んで自らの力で悟りを開くことが、救済への唯一の道であると強調したから。
-
- 問10 近年の関東地方において、長年続いてきた都心への一極集中に対し、一部で見られる「分散」の動きの背景として、最も関係が深い事柄を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 農業における労働環境の悪化と離農者の増加 2. 交通網の遮断による物理的な移動の制限 3. 都心部における大規模な工業団地の造成 4. 情報通信技術の活用によるテレワークの普及
-
- 問11 室町時代、室町幕府や有力な寺社は財政収入を増やすために、物資の往来が盛んな街道の要所に特定の施設を設置しました。この施設を利用した制度の説明として最も適切なものを選んでください。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。 2. 幕府が公認した株仲間営業の独占権を与える代わりに、運上や異加と呼ばれる税を納めさせた。 3. 問屋が生産者から商品を一括で買い取る仕組みを作り、幕府がその取引額の一定割合を徴収した。 4. 主要な港に奉行所を置き、海外から持ち込まれた木材などの輸入品をすべて幕府が買い上げた。
-
- 問12 1972年に当時の田中角栄首相が中国の北京を訪問し、日中共同声明に署名したことで実現したことは何ですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 日中平和友好条約が正式に調印された 2. 中国との間で貿易に関する関税が完全に撤廃された 3. 中華人民共和国との国交が正常化された 4. 日本が連合国との講和条約を締結し独立を回復した
-
- 問13 中国やインドを中心としたアジア諸国のエネルギー消費量が急増し、2012年には世界の一次エネルギー消費量の約3分の1を占めるようになりました。このような変化が起こった背景について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 新興国を中心とした経済発展による、工業化や生活水準の向上 2. 先進工業国による省エネルギー技術の途上国への輸出停止 3. 世界的な人口減少に伴う、欧米諸国のエネルギー需要の大幅な縮小 4. アジア諸国における石炭資源の枯渇に伴う、輸入エネルギーへの依存

答え合わせ・解説

問1	答え 2 かんがい農業	砂漠が広がる乾燥帯では、自然の降水だけでは農作物の成長に必要な水分が不足します。そのため、地下水路やスプリンクラーなどを用いて人工的に水を供給する「かんがい」という技術を用いることで、乾燥した土地でも農業を可能にしています。
問2	答え 3 国民一人あたりのGDP	EU域内では、歴史的な背景から西側諸国と旧共産圏の東側諸国の間で経済的な水準に差があります。ポーランドやブルガリアなどの東ヨーロッパ諸国は、近年経済成長を続けているものの、依然として先行加盟国に比べると「国民一人あたりのGDP」が低く、この指標の差がEU内における経済格差を象徴するデータとして扱われます。
問3	答え 3 一地一作人の原則	太閤検地が行われる以前は、一つの土地に対して公家や寺社、武士などの複数の権利者が重なり合って存在しており、支配関係が非常に複雑でした。秀吉はこの中世的な土地制度を終わらせるため、土地の面積や等級を統一の基準で測り直し、実際に耕作している農民を一人だけ登録することで、年貢の負担者を明確にし、封建的な支配体制を整えました。
問4	答え 3 地熱発電	発電の源となる蒸気や熱水は火山活動に由来するため、全国一様に分布しているわけではなく、火山帯が位置する九州や東北に大きく偏っているのが特徴です。二酸化炭素の排出を抑える再生可能エネルギーとして、これらの地域で重要な役割を担っています。
問5	答え 1 大きな地震が発生した際、この石碑よりも高い場所へ避難することを促し、人々の命を守る行動指針とするため	東日本大震災では、過去の教訓が十分に活かされず多くの命が失われた反省があります。「女川いのちの石碑」は、単なる震災の記録や供養にとどまらず、将来起こりうる地震において「ここより上に逃げる」という具体的な避難行動を人々に想起させる、防災・減災の実効性を高めるまちづくりの一環として建てられました。
問6	答え 1 加工貿易	苫小牧港では、海外から輸入した木材チップを港周辺の製紙工場で紙・パルプへと加工し、製品として出荷・輸出しています。このように原料を輸入して付加価値の高い製品を作る形態は加工貿易と呼ばれ、日本の工業を支える重要な仕組みの一つです。石炭の輸出や石油の輸入が中心であるといった誤った説明に注意が必要です。
問7	答え 3 若年層の投票率が低いことで、人口が多く投票率も高い高齢層の意見が政策に反映されやすくなる「シルバー民主主義」の状況を招いている。	現代の日本において、若年層は他の年代に比べて投票率が低だけでなく、投票を「権利だが棄権すべきではない」という義務感よりも「個人の自由」として捉える傾向が強いことがわかっています。このように若年層の政治参加が少ない一方で、人口ボリュームが大きく投票率も高い高齢層の意思が政治に強く反映されるようになり、社会保障などの予算配分が若者向けよりも高齢者向けに偏りやすくなる「シルバー民主主義」が深刻な課題となっています。
問8	答え 4 社会保険	日本の社会保障制度は「社会保険」「公衆衛生」「公的扶助」「社会福祉」の4本の柱で構成されています。年金、医療、介護などのリスクに対して、あらかじめ国民が保険料を出し合うことで互いに支え合う仕組みが社会保険に該当します。税金を主な財源として生活困窮者を助ける公的扶助や、病気の予防などを目的とする公衆衛生、児童や高齢者の生活を支援する社会福祉との違いを理解しておくことが重要です。
問9	答え 2 念仏を唱えるという平易な行いによって、誰でも救われるという教えを説いたから。	鎌倉新仏教の多くに共通する特徴は「平易性」です。一遍が説いた時宗は、念仏を唱えるだけで救われるというシンプルな教義に加え、音楽的な要素を持つ「踊念仏」を通じて民衆の心をつかみました。当時の厳しい社会情勢の中で、文字が読めない農民や忙しい商工業者でも実践できる救済の形を示したことが、爆発的な普及の背景にあります。選択肢にある御成敗式目とは武士のための法律であり、座禅は禅宗（栄西や道元）の特徴です。
問10	答え 4 情報通信技術の活用によるテレワークの普及	長らく東京都心部への人口集中が続いてきましたが、近年はインターネット環境の整備に伴い、職場に出勤せず自宅などで仕事をするテレワークが普及しました。これにより、必ずしも都心に住む必要がなくなったため、住居を郊外や自然豊かな地方へ移す「分散」の動きが見られるようになっています。これは一極集中の緩和につながる新しい変化として注目されています。
問11	答え 1 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。	室町時代には農業や手工業の発達により地域間の流通が活発になりました。この経済活動に注目した室町幕府や寺社などは、街道や港に「関所」を設け、そこを通る人々から「関銭（せきせん）」や「津料（つりょう）」といった通行料を徴収しました。これは当時の権力者にとって重要な財源となりました。選択肢にある株仲間や問屋の全盛期は江戸時代であり、時代背景が異なります。
問12	答え 3 中華人民共和国との国交が正常化された	1972年の日中共同声明により、それまで国交が断絶していた日本と中華人民共和国の間で国交正常化が果たされました。これにより、第二次世界大戦以来の不正常な状態が解消されました。この国交正常化を祝して、中国から上野動物園へパンダが贈られたことは、当時の友好ムードを象徴する出来事として知られています。
問13	答え 1 新興国を中心とした経済発展による、工業化や生活水準の向上	中国やインドは「新興国」と呼ばれ、近年急速な経済成長を遂げています。これに伴い、工場での生産活動が活発になる「工業化」が進んだことや、自動車の普及、電化製品の使用といった国民の「生活水準の向上」が起きたことが、一次エネルギー消費量を押し上げる直接的な原因となりました。この結果、1990年代以降、世界のエネルギー消費の構造はアジア中心へと大きく変化しています。